

〈担当者から〉

税務マネジメントコースの大学院説明会を担当する依田です。

昨年 12 月 19 日に開催された説明会に引き続き、当日の司会進行を担当させていただきます。当日の具体的なスケジュールは以下のとおりです。ただし、当日の進行状況により多少変更されることもありますので、予めご承知置き下さい。

【大学院説明会のスケジュール】

① 10:30～12:00 説明会

昼休み（当日は、「B's Dining」（学食）で無料ランチが提供されますが、休憩時間が 40 分間であることや、学食の座席数などからご利用できない場合もあります。昼食をご用意・ご持参いただき教室内で食べていただくこともできます。なお近隣のコンビニ等も学部生が利用するため、混雑が予想されますことをあらかじめご了承ください。）

② 12:40～13:20 模擬授業Ⅰ

③ 13:20～14:00 模擬授業Ⅱ

休 憩

④ 14:10～14:50 修了生及び在学生からのアドバイス

⑤ 14:50～15:10 全体を通じた質疑応答

休 憩

⑥ 15:20～17:30 個別相談（事前予約制）

① 説明会

説明会では、まず、税理士試験における税法科目免除の制度の概要について説明した後、税法科目免除を受けるための大学院生活（特に、大学院での教育内容と修士論文に向けての指導内容）について、当税務マネジメントコースでの大学院生活を素材にして説明します。

もともと大学院は学問研究の場であり、もっぱら研究者を養成する教育機関と位置付けられていました。しかし、今日では、社会状況の変化により、研究者養成だけでなく多方面で活躍できる高度な専門職業人の養成も大学院に期待されています。

したがって、高度な専門職業人である税理士を志望する人に対して、税理士として活躍し十分に社会に貢献できるような能力（論理的思考力、問題解決力、表現力、コミュニケーション能力等）を開発することは、大学院に与えられた使命のひとつと言えます。

税理士法における修士の学位の取得による試験科目免除の制度もこのような大学院の役割に着目したものと考えられます。大学院での学習・研究のもとに修士論文を完成して修士課程を修了することにより、税理士となるのに必要な学識及び応用能力が備わったもの

とみなされて、税法に属する 3 科目のうち 2 科目の免除が認められています。一見すると修士号の取得が税法 2 科目の免除と等価と思われるかもしれませんが。しかし、私は、大学院修士課程での 2 年間の勉学・研究は、税法 2 科目の受験勉強および合格に至る過程で得られるよりもはるかに多くのもの、また、受験勉強の過程では決して得られないものを得ることができると考えています。大学院修士課程の 2 年間では、税法全般にわたる知識や税法条文の解釈適用能力を習得することは当然として、特に、修士論文の制作過程においては、自分で論文のテーマを決め、研究を進めて行く中で、論理的思考力、表現力、問題解決能力が鍛えられます。これらの能力は、皆さんが税理士になって業務を適切に遂行するためには欠くことのできない能力です。

このような能力を大学院修士課程で十分に身に付けるためには、学生自身のやる気と継続的な努力が必要です。特に、仕事をしながら勉強を続けるのは大変だと思います。その中で歯を食いしばって頑張ることにより、税理士として必要とされる基礎的能力を確実に身に付けていただきたいと思います。

もし、税理士を志望される方の中に、大学院修士課程を経由することを税理士試験の「抜け道」あるいは「バイパス」と捉えて、なるべく労力をかけないで科目免除を取得しようとする方がいるならば、その考え方は、科目免除の制度趣旨をはき違えているだけでなく、2 年間の大学院生活を有効に利用しないという意味で大変もったいないと思います。

税理士となりバリバリと活躍する将来の自分のイメージを常に頭に浮かべながら、大学院の 2 年間で、ぜひ税理士となるための実践的な実力を身に付けてください。

このような立場から、当日は、税理士の科目免除の制度の内容について確認するとともに、税理士に必要な能力習得との関係で、実際に大学院でのどのような勉学・研究が行われ、そして修士論文が制作されていくかということについて当税務マネジメントコースを素材にしてお話しさせていただく予定です。

② 模擬授業 I

上記①の後半で具体的な大学院での勉学・研究、修士論文の制作についての説明を行いますが、模擬授業では、私が税務マネジメントコースで実際に行っている授業（「租税法研究」および「所得税法研究」）を再現して、大学院ではどのようなことをねらいとして、どのような授業が行われているかについて、出席者の皆さんに知っていただこうと思います。

「模擬授業 I」は、1 年次の前期に行っている授業を再現して行います。その授業では、過去の判例を素材にして、事実の概要および判決の内容を理解した上で、判決がなぜそのような判断をするに至ったかとか判決の考え方に問題はないのか等、いろいろな角度から検討を行っています。

授業の進め方は、私から提起した問題について質疑応答や学生間での議論を中心としています。当日も参加者の方々に質問して皆さんと議論したいと思っています。ただ、参加していきなり発言しにくいという方もいると思いますので、修了生及び在学生数名に授

業に参加してもらい、主として彼らとの質疑応答により授業を再現したものを参加者の方々に見ていただこうと思います。

このような授業を行うことにより、判例を素材にしなが、筋道立てて物事を考える力、それをもとに自分で論理を積み上げていく力を鍛えるとともに、自分の論理を相手にわかりやすく表現し伝達する力を付けることを目的にしています。

③ 模擬授業Ⅱ

「模擬授業Ⅱ」では、学生が選んだテーマについての発表をしてもらいます。学生の発表後これを素材にして、質疑応答や議論を行います。

この授業は1年次の後期で行っていますが、修士論文に向けた論文作成のトレーニングという意味で、学生に自由にテーマを選んでもらい、それについて研究した内容を授業で発表してもらっています。その後、発表内容に発表時の議論を加味したものを小論文の形式にして学期末に提出してもらいます。

修士論文と比較すれば、小論文の分量ははるかに少ないですが、小論文の作成過程は、テーマの選定から始まり、小論文の概要についての授業での発表、そして小論文の執筆まで修士論文の作成過程とまったく同様です。模擬授業での学生の発表およびその後の議論を聞いていただくことにより、修士論文のイメージを少しでも掴んでいただけると幸いです。

④ 修了生及び在學生からのアドバイス

当日は、当税務マネジメントコースの修了生2名及び在學生2名に模擬授業から参加してもらい、参加者の皆さんに各自の経験を踏まえてアドバイスをしてもらいます。

修了生には、大学院での生活や税理士資格を取得するまでの過程、そして現在の税理士としての活動に大学院がどのように影響しているか等の経験談をお願いするつもりです。

在學生には、現在、大学院でどのような勉強・研究を行っているか、大学院に入学前の大学院に対するイメージと大学院入学後の実感とどこがどのように違ったか等について話してもらおう予定です。

いずれも先輩の経験に根ざした参考になるアドバイスが聞けるのではないかと思います。

⑤ 全体を通じた質疑応答

上記①から④の終了後に全体を通じた質疑応答の時間を30分程度設けます。

どの内容についてもかまいませんので、ご遠慮なくご質問ください。

できる限り可能な範囲で回答いたします。

⑥ 個別相談（事前予約制）

最後に、ご自分の置かれた状況を踏まえて個人的に相談したいという方のために個別相

談の時間を設けます。前回は希望者が多かったので、先着順による事前予約制とさせていただきます。

ご希望の方は、説明会参加申込みの際にお申し出ください。事務担当より予約内容の確認のご連絡をさせていただきます。

個別相談を受ける方々には予定時刻までお待ちいただきますが、上記④で参加者に対して話しをしてくれた修了生・在学生にお待ちいただく教室に残ってまいりますので、気軽に話しかけてください。

なお、説明会当日には都合が付かない方は、別の機会にも面談・授業聴講が可能です。

現在、前期の授業が開講中ですが、いつでも授業の聴講は可能です。個人面談をご希望であれば、可能な限り時間を調整して面談いたします。ご希望の方は、大学院教務にご相談ください。

以上、説明会当日の概要について説明させていただきました。

今年も8月2日～4日には、税理士試験が実施されます。

このご案内をご覧になっている方の多くが税理士試験を受験されると思います。そして、試験終了後には、引き続き次の受験勉強や大学院受験準備等、あらたな行動を起こされることでしょう。

あらたな行動を起こすにあたって、大学院進学を決めている方もそうでない方も、一度、大学院がどのようなところかを垣間見ていただけるとうれしいです。大学院説明会では、どのような状況の方にも適切な情報を提供したいと思います。

7月に入り暑さが一段と厳しくなってきました。健康に気を付けて、目標達成に向けてぜひ頑張ってください。

それでは、説明会の会場でおめにかかりましょう。

文京学院大学大学院経営学研究科
税務マネジメントコース
大学院説明会担当 依田俊伸